

美里町病院事業新改革プラン

平成 2 9 年度点検・評価

平成 3 1 年 1 月

美里町立南郷病院運営委員会

1 収支計画と決算状況

(1) 平成29年度収益的収支(単位:円)

区分		計画	決算	比較()
収入	1. 医業収益 a	502,476,000	487,143,700	15,332,300
	(1) 料金収入	416,372,000	399,978,753	16,393,247
	入院収益	254,222,000	246,401,471	7,820,529
	外来収益	162,150,000	153,577,282	8,572,718
	(2) その他	86,104,000	87,164,947	1,060,947
	うち他会計負担金	36,294,000	36,294,000	0
	うち基準内繰入金	36,294,000	36,294,000	0
	2. 医業外収益	182,957,000	184,109,181	1,152,181
	(1) 他会計負担金	140,778,000	140,778,000	0
	うち基準内繰入金	140,778,000	140,778,000	0
	(2) 他会計補助金	12,928,000	12,928,000	0
	(3) 国(県)補助金	-	-	-
	(4) 長期前受金戻入	28,786,000	28,786,000	0
	(5) その他	465,000	1,617,181	1,152,181
経常収益 (A)	685,433,000	671,252,881	14,180,119	
支出	1. 医業費用 b	669,808,000	644,013,029	25,794,971
	(1) 職員給与費 (K)	308,942,000	292,318,761	16,623,239
	基本給	144,369,000	136,100,062	8,268,938
	その他	164,573,000	156,218,699	8,354,301
	(2) 材料費	85,000,000	73,922,436	11,077,564
	うち薬品費	52,239,000	42,931,168	9,307,832
	(3) 経費	116,977,000	115,745,112	1,231,888
	うち委託料	68,114,000	66,328,795	1,785,205
	(4) 減価償却費	50,377,000	50,362,320	14,680
	(5) その他	108,512,000	111,664,400	3,152,400
	2. 医業外費用	37,914,000	36,700,285	1,213,715
	(1) 支払利息	21,079,000	20,102,036	976,964
	(2) その他	16,835,000	16,598,249	236,751
	経常費用 (B)	707,722,000	680,713,314	27,008,686
経常損益(A) - (B) = (C)	22,289,000	9,460,433	12,828,567	

比較の 表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

区分		計画	決算	比較 ()
特別 損 益	1. 特別利益 (D)	-	-	-
	2. 特別損失 (E)	-	-	-
	特別損益 (D) - (E) = (F)	-	-	-
純損益 (C) + (F)		22,289,000	9,460,433	12,828,567
累積欠損金 (G)		528,277,000	501,550,748	26,726,252
流動資産		263,871,000	287,980,743	24,109,743
うち未収金		67,236,000	64,021,483	3,214,517
流動負債		161,858,000	158,624,658	3,233,342
うち未払金		39,915,000	39,530,015	384,985
単年度資金収支額 = (前年度流動負債 - 前年度流動資産) - (当年度流動負債 - 当年度流動資産) 翌年度繰越財源なし		49,288,000	35,843,438	13,444,562
累積欠損金比率(G) / a × 100		105.1%	102.9%	
医業収支比率 a / b × 100		75.0%	75.6%	
経常収支比率(A) / (B) × 100		96.9%	98.6%	
職員給与比率(K) / a × 100		61.5%	60.0%	

比較の 表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

一般会計等からの繰入金の見通し	計画	決算	比較 ()
収益的収支	190,000,000	190,000,000	0

比較の 表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

収益的収支の評価：2 概ね達成できた

経常収益では、医業収益の計画が達成できなかったが、経常費用全体で費用を抑制できたことから、経常損益について、計画した赤字幅を圧縮することができた。経常損益では、赤字額を生じさせないことが最大の目標であることから、次年度以降も職員全体で赤字解消に向け取り組む必要がある。

3段階評価 (1 達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった)

(2) 平成 2 9 年度資本的収支 (単位 : 円)

区分		計画	決算	比較 ()
収入	1 . 企業債	30,000,000	30,000,000	0
	2 . 他会計出資金	-	-	-
	3 . 他会計負担金	46,969,000	46,968,000	1,000
	うち基準内繰入金	46,969,000	46,968,000	1,000
	4 . 他会計借入金	-	-	-
	5 . 他会計補助金	-	-	-
	6 . 国 (県) 補助金	-	-	-
	7 . 工事負担金	-	-	-
	8 . 固定資産売却代金	-	-	-
	9 . その他	-	-	-
	収入計 (a)	76,969,000	76,968,000	1,000
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額(b)	-	-	-
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	-	-	-
	純計(a) - {(b) + (c)} (A)	76,969,000	76,968,000	1,000
支出	1 . 建設改良費	30,866,000	30,436,398	429,602
	2 . 企業債償還金	76,653,000	76,652,892	108
	うち建設改良のための企業債分	76,653,000	76,652,892	108
	3 . 他会計長期借入金返還金	-	-	-
	4 . その他	-	-	-
	支出計 (B)	107,519,000	107,089,290	429,710
差引不足額(B) - (A) = (C)		30,550,000	30,121,290	428,710
補てん財源	1 . 損益勘定留保資金	30,550,000	30,121,290	428,710
	2 . 利益剰余金処分額	-	-	-
	3 . 繰越工事資金	-	-	-
	4 . その他	-	-	-
	計 (D)	30,550,000	30,121,290	428,710
補てん財源不足額(C)-(D) = (E)		0	0	0
企業債残高		591,381,000	591,380,829	171

比較の 表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

一般会計等からの繰入金の見通し	計画	決算	比較 ()
資本的収支	46,969,000	46,968,000	1,000

比較の 表記は、決算が計画に対して不足する金額を示す。

資本的収支の評価 : 2 概ね達成できた

3 段階評価 (1 達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった)

2 病院の現状

(1) 病床数と診療科目

種別	平成28年度末	平成29年度末
病床数	一般50床	左に同じ(変更なし)
診療科目	5科目(内科、外科、小児科、眼科、整形外科)	左に同じ(変更なし)

病床数と診療科目の評価

医師と看護師の確保に努め、病床数と診療科目を平成28年度と同じ体制で維持することができた。

(2) 経営形態と決算状況

種別	平成28年度末	平成29年度末
経営形態	地方公営企業法財務適用	左に同じ(変更なし)
決算状況	純損失 15,161,958 円(詳細は省略)	「1 収支計画と決算状況」のとおり

経営形態の評価

地方公営企業法の財務適用から全部適用に変更する理由がなく、財務適用を維持した。

(3) 職員配置

種別	平成28年度末	平成29年度末
職員配置の実績	正規職員 34 人 非常勤職員 14 人(実人数) 臨時医師 2.67 人(常勤換算) (詳細は省略)	正規職員 33 人 非常勤職員 17 人(実人数) 臨時医師 2.63 人(常勤換算) 詳細は「別表1」のとおり

職員配置の評価：2 概ね達成できた

医師と看護師の確保に努め、最低必要職員数を確保することができた。他の職種においても、医療サービスの提供に不足が生じない体制を維持することができた。

3段階評価(1 達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった)

別表1 平成29年度職員配置の目標と実績

職種	雇用形態	目標	実績	実績の説明
医師	正規	2人	2人	
	臨時	2人	2.63人	一日の勤務時間を8時間として換算した数
	非常勤	1人	1人	
看護師	正規	17人	15人	
	非常勤	2人	1.8人	一日の勤務時間を8時間として換算した数 (週35時間勤務2人)
准看護師	正規	8人	7人	
	非常勤	2人	2.0人	一日の勤務時間を8時間として換算した数 (週31時間勤務2人) (週16時間勤務1人)
看護補助員	非常勤	8人	7.2人	一日の勤務時間を8時間として換算した数 (週35時間勤務8人)
診療放射線技師	正規	1人	1人	
臨床検査技師	正規	2人	2人	
	非常勤	1人	0.4人	一日の勤務時間を8時間として換算した数 (週16時間勤務1人)
薬剤師	正規	2人	2人	
管理栄養士	正規	1人	1人	
事務職	正規	3人	3人	
	非常勤	1人	0.6人	一日の勤務時間を8時間として換算した数 (週24時間勤務1人)
労務職	非常勤	1人	0.4人	一日の勤務時間を8時間として換算した数 (週16時間勤務1人)

3 医療機能数値目標

(1) 患者数

区分	平成28年度	平成29年度		
	実績	目標	実績	目標に対する増減
救急	834人	825人	613人	212人
外来	22,563人	23,500人	21,453人	2,047人
入院	12,826人	12,775人	13,211人	436人

- ・救急の人数は、時間外・深夜、土・日曜日、祝日、年末年始の延患者数。
- ・外来の人数は、時間内救急患者、眼科、人間ドック、健診、予防接種等を含む延外来患者数。
- ・入院の人数は、延入院患者数。

(2) 目標とした患者数を受入するため、最低必要とされる医師及び看護職員数

区分	平成29年度		
	必要数	実績数	必要数に対する増減
医師数	4.26人	5.63人	1.37人
看護職員(看護師及び准看護師)	16.00人	25.8人	9.8人

- ・必要数には、届出を行った施設基準や救急医療体制に必要となる人員は含まれていない。

(3) 人口の推移に関する参考資料

美里町の人口(美里町町民生活課：美里町行政区別人口一覧表より)

基準日	美里町全域	旧南郷町地域	旧小牛田町地域
平成29年4月1日	24,834人	5,780人	19,054人
平成30年4月1日	24,656人	5,620人	19,036人

当院を中心とした半径5km以内の人口(総務省統計局ホームページ e-Stat：GIS機能より抽出)

基準年	抽出人口	備考
平成22年	19,261人	国勢調査による統計データを基に、条件を選択して抽出した人口
平成27年	18,453人	

医療機能数値目標の評価：3達成できなかった

患者数は、入院患者数の目標を達成できたが、救急患者数及び外来患者数は、目標を達成することができなかった。目標を達成できなかった要因については、地域の人口減少及び長期処方等が大きな要因と思われる。目標の達成は必要と思われるが、地域住民が医療を必要とした時に、医療体制に不足が生じないよう職員を確保しておくことが最も重要である。

地域医療を支えるために必要な医師と看護師を確保していることから、目標を上回った入院患者数があっても、医療体制に不足が生じることはなかった。

3段階評価(1達成できた 2概ね達成できた 3達成できなかった)

4 経営の効率化（使用電力量の抑制）

（１）平成２９年度使用電力量の目標と実績

使用電力量の目標値	使用電力量の実績値
４３１，４０７ｋｗｈ (一月当たり平均３５，９５０ｋｗｈ)	４８０，２８４ｋｗｈ (一月当たり平均４０，０２３ｋｗｈ)

（２）平成２９年度月別使用電力量実績と平均値超過量

月	使用量実績	目標一月当たり平均超過量	実績一月当たり平均超過量
４月	４１，６４４ｋｗｈ	５，６９４ｋｗｈ	１，６２１ｋｗｈ
５月	２４，０９９ｋｗｈ	１１，８５１ｋｗｈ	１５，９２４ｋｗｈ
６月	２０，７５７ｋｗｈ	１５，１９３ｋｗｈ	１９，２６６ｋｗｈ
７月	２５，９５７ｋｗｈ	９，９９３ｋｗｈ	１４，０６６ｋｗｈ
８月	３０，８７８ｋｗｈ	５，０７２ｋｗｈ	９，１４５ｋｗｈ
９月	２７，０２８ｋｗｈ	８，９２２ｋｗｈ	１２，９９５ｋｗｈ
１０月	２３，７０１ｋｗｈ	１２，２４９ｋｗｈ	１６，３２２ｋｗｈ
１１月	３６，７６０ｋｗｈ	８１０ｋｗｈ	３，２６３ｋｗｈ
１２月	５９，２２７ｋｗｈ	２３，２７７ｋｗｈ	１９，２０４ｋｗｈ
１月	６７，８４２ｋｗｈ	３１，８９２ｋｗｈ	２７，８１９ｋｗｈ
２月	７０，６２１ｋｗｈ	３４，６７１ｋｗｈ	３０，５９８ｋｗｈ
３月	５１，７７０ｋｗｈ	１５，８２０ｋｗｈ	１１，７４７ｋｗｈ

（３）平成２９年度宮城県鹿島台の平均気温資料（気象庁のホームページより）

月	平均気温	最高気温平均	最低気温平均
４月	９．５	１６．０	２．４
５月	１５．７	２１．２	１０．８
６月	１７．７	２２．０	１３．８
７月	２４．１	２８．５	２０．７
８月	２２．３	２５．５	１９．７
９月	１９．２	２４．９	１３．７
１０月	１３．４	１７．９	９．１
１１月	６．８	１２．４	１．３
１２月	１．３	６．０	- ３．３
１月	- ０．４	３．６	- ５．４
２月	- ０．４	４．３	- ５．３
３月	５．４	１２．０	- １．０

経営の効率化（使用電力量）の評価：3達成できなかった

「経営の効率化」として、使用電力量の抑制を目標に掲げたが、年間の使用量実績は、目標を超過する結果となった。

使用量を月別で確認したところ、夏季は少ない傾向にあり、冬季の使用量が大きいことが確認できた。要因として、平均気温が10℃を下回る月の厳しい冷込が考えられる。

厳しい冷込が施設全体を冷やすのに対し、空調に採用しているエアコンで快適な温度を保つには、相当の電力量が必要であるため、今回の点検・評価により、使用電力量の抑制には、施設の断熱効果を改善すること、また、他の暖房装置の採用の検討が必要と考えられる。費用対効果を十分に検討して、使用電力量の抑制に繋げたい。

3段階評価（1達成できた 2概ね達成できた 3達成できなかった）

5 地域医療構想を踏まえた役割及び再編・ネットワーク

平成29年度連携医療機関実績

連携先医療機関の所在	連携先医療機関の数	診療情報の提供（当院から医療機関等への紹介等）件数	情報提供の受入（医療機関等から当院への紹介等）件数
美里町	8	65	101
涌谷町	6	60	61
大崎市	17	210	222
栗原市	2	2	1
松島町	1	1	0
石巻市	4	72	92
東松島市	3	47	64
登米市	1	1	0
塩釜市	1	1	0
仙台市	16	36	50
その他施設等		88	34
合計		583	625

連携医療機関の評価：2 概ね達成できた

「美里町病院事業新改革プラン」の「地域医療構想を踏まえた役割」では、「具体的将来像」として医療機関等との連携が重要としており、これまで以上の連携を進めることとしています。

また、「再編・ネットワーク」では、「現在の状況」と「医療圏内の病院等配置の現況」で連携状況を記載しています。

これら連携の実績として、平成29年度の患者紹介状況を分析した結果、連携先の範囲は、美里町が含まれる大崎・栗原医療圏のほかに、近隣の石巻市や東松島市など県内の広範囲にあったことを確認した。

患者が一日も早く回復できるように、医療機関が相互に連携を活用して、それぞれが持つ機能を最大限に活かし、安定した医療体制を構築できるよう引き続き連携に努める。

3段階評価（1 達成できた 2 概ね達成できた 3 達成できなかった）

6 総合評価

平成29年度総合評価

「美里町病院事業新改革プラン（以下、本プランという。）」の取組み初年度として、収支計画に対しては、赤字解消までには至らなかったが、赤字幅の圧縮に努めることができた。

医療機関等との連携状況については、宮城県内の広範囲において、専門の医療機関で質の高い医療を受けられるよう連携を進めてきた。

平成28年11月に宮城県が策定した地域医療構想では、人口構造の見通しや今後必要とされる医療機能別の病床数等が示されており、本プランの点検では、人口減少といった地域の実情を確認することができた。地域の人口減少については、外来患者数の減少を加速させる要因の一つとして捉えることができ、不採算地区病院の環境として、さらに厳しいものと考えられる。

なお、当院では、医療機能を急性期としているが、地域の実情として、回復期や慢性期といった入院患者の受入も必要となっており、できる限り連携を活かして進めている状況にある。

一般会計からの繰入金については、本プランの収支計画に基づき、平成29年度の実績が収益的収支で1億9千万円となっており、支出の財源となっている。収益的収入は、外来収益や入院収益といった医業収益が基本となるが、その収入だけで支出を賄うことができないため、一般会計からの繰入金を財源としている。

経常損益の赤字は、支出の財源が不足していることを示しており、経常損益の赤字解消に向けては、質の高い医療を提供して、医業収益の確保に繋げることと費用の抑制が最も重要である。また、公立病院を運営していく上では、地域の実情に応じて不採算となった医療体制に対して、一般会計からの繰入金が重要である。